

科目	専攻科ゼミナールⅠ (Advanced Course Seminar I)		
担当教員	松井 哲治 教授, 杉 廣志 教授, 宮下 芳太郎 准教授, 下村 憲司朗 講師		
対象学年等	応用化学専攻・1年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	B4(40%) C2(60%)	JABEE基準1(1)	(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(f),(g)
授業の概要と方針	専門工学に関連する外国語文献を輪読する。担当部分について、その内容を説明し考察を述べるとともに討論をゼミナール形式で行う。幅広い工学分野の新しい学識を得るとともに、関連する文献を調査することにより最新技術や研究の手法について実践的に学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B4】分析化学, 化学工学, 無機化学, 生物工学の各分野の基本的文献を読み, それをまとめることができる。		各担当教員が輪読のとき英語が正しく訳され, その大筋を把握出来ているかを確認すると共に, 最後にレポートを提出させ授業内容の理解度を評価する。
2	【C2】分析化学, 化学工学, 無機化学, 生物工学の各専門分野の講読した論文の課題等を的確に把握し, それを解決する手法を理解できる。		各担当教員がレポートを提出させ, これまで学習した工学基礎や専門分野が生かされ, 応用されているかなど授業内容の理解度を確認する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, レポート50%, プレゼンテーション50%として評価する。各担当の評価を平均する。成績は100点満点とし, 60点以上を合格とする。		
テキスト	各分野の担当者が選択した文献		
参考書			
関連科目	分析化学, 化学工学, 無機化学, および生物工学の分野の諸科目		
履修上の注意事項	分析化学, 化学工学, 無機化学および生物工学の基本的知識が必要。		

